

【受賞報告】 歯学部学生技能コンペティション 最終選考 優秀賞

歯学部5年の市村俊太郎さんが、第2回JPS student clinical skills competition最終選考の優秀賞を受賞しました。

JPS student clinical skills competition(日本補綴歯科学会・学生技能コンペティション)は、的確な臨床判断能力と、高いレベルの臨床技能を有する歯科医師を育成するために企画された、全国の歯学部学生を対象とした臨床技能試験です。

市村さんは、一次審査(全国の歯学部・歯科大学26校の各代表1名からの選抜)を経て、最終審査進出者の8名に選定され、見事、優秀賞を受賞しました。



滝川市教育委員会より 感謝状が授与されました

心理科学部学部長の冨家直明教授(写真右)は、2014年に滝川市いじめ防止専門委員会会長に就任以来、滝川市のいじめ防止対策と教育行政の推進に尽力してきましたが、このたび離任することになり、これまでの功績をたたえ滝川市教育委員会教育長より感謝状が授与されました。

滝川市はいじめ防止対策をはじめ、子どもの教育支援に熱心に取り組んでいます。北海道医療大学は滝川市と連携協定を結び、積極的に同市の事業を支援してきました。後任の滝川市いじめ防止専門委員には同じ心理科学部の百々尚美教授(写真左)が就任することが決定しています。



「北海道医療大学駅」がターミナル化

当別キャンパス直結のJR「北海道医療大学駅」は、2020年5月7日よりJR学園都市線の最終駅となったことに伴い、「札幌駅」～「北海道医療大学駅」の電車が40便から66便へと大幅に増便。改札機・出入口の増設、駐車場の拡大、カーポート・バスターミナルの整備なども行われ、通学がますます快適になりました。



EDITOR'S NOTE

2020年も残り2ヶ月となりました。年初から新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が出され卒業式や入学式も施行できなくなり、学生や保護者の皆様におかれましては、式典を大変楽しみにされていたことと思います。

4月以降も緊急事態宣言が解除されてもなお、通常登校ができずオンライン授業を本格導入することになり、学生の皆さんは登校が制限されキャンパスで学ぶ楽しさや友人と語り合う楽しさの多くを奪われた状態で新学期をスタートしなくてはならなくなりました。また国内情勢も東京オリンピックをはじめ、多くのプロスポーツの試合延期、音楽イベント等の大規模な興行の中止、日常生活でも多々制限のある中、徐々に通常の学校生活に戻すべく創意工夫し今に至っております。

本学では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部のオープンキャンパスが中止になり、特設サイトの公開ならびにオンライン個別相談なども開催しています。学生たちには、明るく希望のある未来を過ごして欲しいと心から願い、学生生活を今以上に有意義に、かつ実りのあるものにし、努力を継続することが必ず自分の自信に繋げて欲しいと思っています。教員も一人の指導者として、学生が力を出し切れる環境をつくり、学生の持っている力を伸ばしていきたいものです。

新型コロナウイルス感染症に対して、多くの方がそれぞれの立場で懸命に取り組んでいます。私たちに出来る最大限の対策を継続し、この事態が収束に向かっていくように願っております。(M.Y記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.175

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
八木 ことえ 下山美由紀 真島 理恵 澤田 篤史
児玉 壮志 下村 敦司 近藤 啓 高橋 祐輔
山形 摩紗 三浦 清志 三川 清輝 近田 卓哉

発行日 ● 2020年10月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
TEL: 0133-22-2113
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail: nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



北海道医療大学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。